文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」

うない通信

国立大学法人 琉球大学　うない研究者支援センター　ニューズレター　Vol.3　2013年7月発行

男女共同参画トップセミナーを開催しました

男女共同参画の ステップアップに 向けて

平成25年5月29日（水）、琉球大学大学会館特別会議室にて、第一回男女共同参画トップセミナーを開催し、学長や理事、部局長など約80人が参加しました。本セミナーは、大学運営に関わる管理職員等を対象に、本学における男女共同参画推進の取り組みの強化・充実に資することを目的として企画されました。第一回目は、内閣府男女共同参画局推進課長などを歴任されている沖縄科学技術大学院大学副学長の久保真季氏を講師としてお招きし、「男女共同参画のステップアップに向けて」と題してご講演頂きました。

まず初めに大城肇学長より、「本学は多様な属性を持った人材が活躍できる大学づくりに取り組んでいるところだが、次世代を担う研究者育成のためにも各部局にご協力頂きたいと思っています」と挨拶がありました。

セミナーでは、講師の久保氏より、国内外の男女共同参画推進の動向や文科省による女性研究者研究活動支援事業設立の背景や目的についての説明がありました。その中で、日本の大学にとって男女共同参画を推進することは法人として、そして教育機関として当然の義務でありながら、実際には達成できていないことを、ジェンダー・エンパワメント指数（GEM）などを元に指摘されました。このような男女雇用格差を是正することは法的にも認められたことであり、女性を対象とした採用枠や雇用促進、保育所等の環境整備など採用比率を上げるために、それぞれの組織に見合った施策を立てることが重要であると提案されました。

講演の後、喜納育江うない研究者支援センター長より、本学における女性研究者支援の取組についての報告がなされました。質疑応答では、フロアより「女性比率の低い学部では、積極的な改善措置としてクオーター制（女性枠）導入について検討することも可能ではないか」という意見が出されるなど、活発な議論が行われました。

最後に、外間登美子理事・副学長（地域国際連携・男女共同参画担当）より、「本学は男女共同参画推進の面からも、地域の模範となる役割があります。ご参加頂いた皆様にも、今日を契機に今後も本学の男女共同参画推進がステップアップできるようご協力頂きたく、よろしくお願い申し上げます」と挨拶があり、盛況のうちに閉会しました。

沖縄科学技術大学院大学 久保　真季　副学長

大城　肇　学長

外間　登美子 理事・副学長

司会　花城　梨枝子 男女共同参画室長

喜納　育江 うない研究者支援センター長

第１回「ゆいカフェ」開催

ゆい cafe

平成25年5月15日（水）、大学本部の第2会議室にて、女性研究者間の情報交換や交流を目的に「第1回 ゆいカフェ」を開催しました。当日は15名の教員が参加し、昼食をとりながら様々な話題について意見や要望を交わしました。

中でも、ライフイベント時にある若手研究者から、仕事と生活の両立の難しさや県外や離島出身者にとって身近にサポートする人がいないため育児や介護が困難であることなど、様々な悩みが吐露されました。それに対して、本学の男女共同参画担当理事である外間登美子理事・副学長から、「男女問わず、研究をしたいと思った人を後押しできるよう、大学の制度や支援体制を整備することは重要であり、そのために学内組織の意識啓発を目的に声を発信することは大事である」とお話しされました。また、当センターのメンターである安仁屋洋子名誉教授から、「今日の場のように、相談や悩みを話すことのできる仲間がいることは大切である。挑戦したいという思いのある人が伸びていける世の中であるために、サポートしていきたい」と励ましを頂きました。今後も、定期的にゆいカフェを開催し、少しずつ女性研究者の輪を広げていきたいと考えています。

Book　ご活用ください！

うない文庫　図書コーナー

最近よく耳にする「男女共同参画」や「ワーク・ライフ・バランス」。皆さんは、どのような概念なのか、ご存知ですか。

うない研究者支援センターでは、情報提供の一環として、男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、子育てや介護に関する書籍を揃えた「図書コーナー」をセンター内に設置しています。また、附属図書館2階情報ラウンジにおいて、「生き方の多様性を応援する"うない文庫"」を常設しています。図書資料は、(独)国立女性教育会館より、図書パッケージ貸出サービスとして200冊の男女共同参画関連図書をお借りしています。書籍は貸出も可能です。ぜひ、みなさんお手に取ってご覧ください。所蔵リストは、うない研究者支援センターHPよりご覧いただけます。

わたしのおすすめ本

『女子の遺伝子』

＊三砂ちづる/吉本ばなな共著
＊亜紀書房 2013年

●新田早苗 室長（企画評価戦略室）

「女だけに伝わるDNAがあってね。"イブ"まで辿り着けるよ。」と、国立遺伝学研究所の先生が話してくれたことを思い出した。読後、ばななさんとちづるさんは、"イブ"を覚えているに違いないと思った。体の奥底から聞こえてくる声に耳を澄ませ、実に軽やかに語りかけてくれる。貴方は貴方のままでいいよって背中をさすってくれるので、あまりの気持ちよさに目を閉じると、自分の中にも"イブ"がいる気がしてくるから不思議。さあ、"イブ"に会いに行こう！

『こどもに食べさせたいおやつ』

＊暮らしの手帳社 2007年

●親盛安紀子（人事課）

図書コーナーで借りた『こどもに食べさせたいおやつ』の本をきっかけに、姪と一緒に、ガトーショコラを作りました。姪にとっては初めてのお菓子作りでしたので、小さな椅子を引っぱりだし、何度もオーブンを見ながら焼き上がりまでの時間を数えている姿は、とても可愛く、またいろんなお菓子を一緒に作ってみたいと思わせてくれます。図書コーナーには、お菓子の本だけでなく、ワーク・ライフ・バランスに関連した素敵な本が揃っています！是非、一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

『ヌエック・ブックレット５　夢をかたちにした女性たち ~将来のキャリアを考えたいあなたへ~』

＊独立行政法人国立女性教育会館編 2007年

●山城佳代子（うない研究者支援センター）

この本は、キャリア形成事例のロールモデル集として、働く女性15人のインタビューを紹介しています。キャリアという言葉は、仕事を意味することに留まらず、生涯の生き方（将来設計）を含むことがわかりました。職業の選択から始まり、今なにができるのかを考え、実行していくことは簡単なことではないけれども、先輩方の生き方を参考にして、なりたい自分になれるよう頑張ってみようと励まされました。

編集後記

◎現在、様々な研究室の協力を得て、夏休みイベントを企画中！
　詳しくは、当センターのホームページまで♪（そ）
◎おすすめ本の他にも様々なジャンルの本がありますので、この機会にどうぞ。
　私のおすすめ本は、折れたらスッキリする（?）折り紙の本です（き）

国立大学法人 琉球大学 うない研究者支援センター
University of the Ryukyus
Unai Center for Researcher Support and Development
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地　大学本部1階
TEL：098-895-8675　FAX：098-895-8732
E-mail:gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp
URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/unai/

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用 R70

ご存知ですか?
本学の介護に関する制度について

Q.1 母が病気のため、長期間にわたって介護が必要となりました。
利用できる制度はありますか?

A.1 介護休業、介護部分休業、介護休暇、介護のための時間外勤務の制限、介護のための深夜勤務の免除の5つの制度を利用することができます。
ただし、対象家族が要介護状態にあることが条件となります。

今回は、【介護休業】と【介護休暇】についてご説明します。

介　護　休　業	要介護状態にある家族を介護する場合、1人につき一の要介護状態に至るごとに1回、次の期間内での取得が可能です。 ◎常勤職員の場合:連続して186日の範囲内 ◎非常勤職員の場合:連続して93日の範囲内
介　護　休　暇	要介護状態にある対象家族の介護、通院等の付添い、介護サービスを受けるために必要な手続きの代行などを行うため、休暇を取得することができます。 ◎対象家族が1人の場合　5日 ◎対象家族が2人の場合　10日 ◎期間(常勤職員は1月1日～12月31日の間、非常勤職員は4月1日～3月31日の間)

※要介護状態…負傷、疾病又は身体上若しくは精神上の障がいにより、2週間以上の期間にわたり、常時介護を必要とする状態
※対象家族…配偶者、父母、子、配偶者の父母、職員が同居し、かつ扶養している祖父母、兄弟姉妹又は孫

Q.2 介護休業中、給与は支給されますか?

A.2 介護休業中の給与は支給されませんが、共済組合や雇用保険のどちらかから給付金又は手当金が支給されます。(条件があります)。また、介護部分休業の場合は、勤務しない時間分が減額されて支給されます。

※詳しい内容は、育児・介護等支援ガイドブックをご覧頂くか、総務部人事課共済係(内線2065、2068)にお問い合わせください。
なお、育児・介護等支援ガイドブックは、うない研究者支援センターHPからもご覧いただけます。

研究者補助員配置制度 利用者の声
研究と介護の両立について

医学部保健学科
成人看護学
准教授
大湾知子

Q.1 ご研究について教えてください。

私は、急性期看護学授業と実習、感染看護学、看護英語文献講読を担当しています。また毎週火曜日には、附属病院泌尿器科外来尿失禁担当看護師として骨盤底筋体操や自己導尿の指導と検査にあたっています。その他、感染対策担当看護師、琉大病院介護支援活動支援プロジェクト代表や沖縄県看護協会感染管理認定看護師教育課程主任教員を担当しています。

Q.2 介護と仕事をどのように両立されているのでしょうか。

父は、子どもたちから介護を受け、さらにヘルパーや訪問看護師、マッサージ師、琉大医学部卒業生の訪問診療医師・看護師から多くの支援を受けています。私は、家族を大事にしながら社会資源を大いに活用させていただき、介護からの学びを琉球大学公開講座として三原自治会をはじめ地域に恩返しするなど、教育・研究・実践に還元しています。

うない研究者支援センターによる研究補助員配置制度を平成25年3月から利用しておりますが、本制度による支援を受けて研究活動が集中、また活性化できることを心より感謝しています。

Q.3 最後に、介護との両立に向き合っているみなさんへメッセージをお願いします。

琉歌メッセージ「民の恩受きてぃ　うない美ら支援　介護実学の　父に感謝」

平成24年度女性研究者研究活動支援事業報告(概略)

◎研究補助員配置制度

平成24年11月より、出産・育児または介護等に携わる研究者に対し、研究時間を確保し、研究活動の活性化を促進するために、研究補助員を配置する「研究補助員配置制度」を実施しました。また、本制度を利用する教員は、研究補助員に対し、ワーク・ライフ・バランスを踏まえた自らの研究やキャリア形成を考える手助けとなるよう監督・指導をおこない、次世代の研究者育成に努めています。平成24年度は19名の教員が本制度を利用し、また24名の研究補助員が配置されました。本制度利用者からは、データ収集と解析を効率的に行うことができ、研究成果を投稿論文や学会で発表することができたとの声が寄せられました。

表　平成24年度研究補助員配置制度利用者数の内訳(11月～3月)

性　別	育　児	介護・看護
男　性	4	0
女　性	11	4
小　計	15	4
総　計	19名	

◎英文校閲及び国際学会派遣費用助成事業

女性研究者のキャリアアップ支援を目的に、学術雑誌に論文を投稿する際の英文校閲に係る費用及び国際学会等で研究成果発表を行うために必要な旅費を助成しました。

平成24年度採択者数(実績)

英文校閲費用助成(上限10万円)	3名
国際学会派遣費用助成(上限15万円)	4名

成果報告　教育学部英語教育学科　與儀　峰奈子(准教授)

うない研究者支援センターからの支援を受け、"2013 International Conference for Academic Disciplines"　という国際学会に出席し、過去3年間行ってきた海外との遠隔通信交流を取り入れた英語教員養成系授業に関する研究成果を発表した。理系および文系の両視点が融合された興味深い学会であり、参加した教育関係者と意見交換をする機会にも恵まれとても有意義な時間となった。今後の教育・研究に向けて前進できたと実感している。このような貴重な機会を与えて下さったことに心より感謝申し上げたい。

イベントのお知らせ
オープンキャンパス企画"理系女子(リケジョ)集まれ!"
(琉球大学男女共同参画室・うない研究者支援センター主催)

平成25年7月20日(土)

1 女性研究者による「理系女子のための自然科学系分野紹介」
時間:12時～13時　場所:農学部 209教室

2 輝け、理系女子!「琉大☆女性研究者支援事業紹介パネル展示」
時間:10時～16時　場所:大学会館2階
休憩スペースもあります。ぜひ、お立ち寄りください♪